

# 教 育 委 員 会 会 議 録

開催日 令和3年10月20日

南 あ わ じ 市 教 育 委 員 会  
南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会



# 南あわじ市及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会 合同定例会会議録

1. 日 時 令和3年10月20日(水) 午前10時00分開会

2. 場 所 南あわじ市役所 第2別館 第5会議室

## 3. 会議次第

開 会 午前10時

開議宣告

会議録署名委員の指名 近藤委員(南あわじ市) 山本委員(学校組合)

前回会議録の承認

議事

協議及び報告事項

閉議宣告

閉 会 午前10時55分

## 4. 会議の出席者

《南あわじ市》

(教育長) 浅井伸行

(教育委員) 数田久美子、岡 一秀、近藤宰常、山本真也

《学校組合》

(教育長) 浅井伸行

(教育委員) 狩野時夫、数田久美子、山本真也、本條滋人

## 5. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 仲山和史、教育総務課長 森山雅生

教育次長補兼学校教育課長 大住武義、社会教育課長 山家光泰、

体育青少年課長 阿部志郎

教育総務課係長 佐々木友美、教育総務課主査 野上典子

## 1. 開 会

午前10時

【浅井教育長】 定足数に達しておりますので、ただいまから南あわじ市教育委員会及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会合同定例会を開会いたします。

## 2. 会議録署名委員の指名

【浅井教育長】 まず、「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員につきましては、会議規則第15条第2項の規定により、1名の委員を指名します。

南あわじ市教育委員会会議録署名委員につきましては、近藤委員にお願いいたします。

南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会会議録署名委員につきましては、山本委員にお願いいたします。

## 3. 前回会議録の承認

【浅井教育長】 次に、「前回の会議録の承認」に移ります。

前回会議録につきましては、事前に送付させていただいておりますので、ご確認をお願いしたいと思います。何かお気づきの点はございませんでしたか。

( 「なし」と呼ぶ者あり )

【浅井教育長】 ご意見がないようですので、前回の教育委員会会議録については原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 「異議なし」と呼ぶ者あり )

【浅井教育長】 異議なしと認めます。

よって、前回の教育委員会会議録については原案のとおり承認することに決定しました。

## 4. 教育長報告

【浅井教育長】 次に、「教育長報告」をさせていただきます。

はじめに、(1) ワールドマスターズゲームズについてです。本日の新聞にもワールドマスターズゲームズの記事が掲載されていました。現在予定されている期間は2022年5月15日から20日まで慶野松原でビーチバレーボールを実施するというのですが、コロナ禍で海外からの参加者が見込めないということで、2026年の実施案が出ているようです。正式決定ではありませんが、今後議論されていくことと思います。

次に、(2) 聖火リレーモニュメント除幕式及び聖火リレー巡回展についてです。10月10日にワールドマスターズゲームズのリハーサル大会がありました。それに合わせて東京2020オリンピックの聖火リレーのゴール地点とされていた瓦舞台にモニュメントが設置され、除幕式が行われました。また、スタート地点の西淡中学校には記念の銘板が設置されております。またお近くへ行かれた際にはご覧になっていただけたらと思います。なお、聖火リレー巡回展は11月、12月に各学校で順に展示される予定です。

最後に、(3) 近畿高校駅伝についてです。11月27日に開始式が行われ、28日の10時30分に男子がスタート、10時40分に女子がスタートします。無観客での実施とさせていただきます。

以上3点につきまして、ご意見等ございませんか。

( 「なし」と呼ぶ者あり )

【浅井教育長】 ないようですので「教育長報告」を終わらせていただきます。

## 5. 協議及び報告事項

【浅井教育長】 続いて、協議及び報告事項に移りたいと思います。

協議及び報告事項につきましては、お手元に資料を配布しております。

### (1) 総合教育会議について

【浅井教育長】 まず、「総合教育会議について」、事務局より説明をお願いします。

【森山課長】 令和3年度第2回総合教育会議次第(案)をご覧ください。第2回の総合教育会議は、来月11月16日(火)の午前10時からここ第5会議室での開催を計画しております。なお、1時間前の9時から、その最終調整も含めての教育委員

会定例会を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

今回の総合教育会議では、次第にもありますように、(1)小学生の社会体育のあり方について、中学生の部活動について、(2)教職員の働き方改革について、(3)南あわじ市教育に関する事務の点検及び評価について、を協議事項として挙げさせていただいております。

なお、協議事項(3)につきましては、9月上旬にご送付させていただいております「南あわじ市の教育 評価・点検報告書」をもとに協議いただきますので、内容を事前にご確認の上、当日お持ちくださいますようよろしくお願いいたします。

会議の流れとしましては、これまでと同様に、まず事務局から協議事項について説明させていただき、その後に市長から各委員へご意見をお伺いしてまとめていくという内容になる予定です。各委員からの活発なご意見をお願いしたいと思います。

今回の総合教育会議につきましては、午前10時に開会しまして概ね2時間程度、正午を目途に閉会としたいと考えておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

**【浅井教育長】** 説明が終わりました。

議題の(1)小学生の社会体育のあり方について、中学生の部活動についてですが、中学校の部活動については、学校教育のあり方を踏まえてルールがきちんとできている状態であり、土日どちらか必ず休みを取るようになっていきますし、練習時間も無制限ではありません。学校のコントロール下で適切な部活動が行われていると考えています。一方、小学校の社会体育ですが、バレーボール、サッカー、野球などは、学校の意図で活動しているわけではありません。そのような中で、燃え尽き症候群、過度な運動により体を壊す、長時間の練習で他のことをする時間を持たない、といった現状があり、これらのことが議論のポイントになるのではないかと考えています。

子ども達の現在の課題として、家庭の学習時間が少ないこと、休日に社会体育で時間が取られていること、ゲームに費やす時間が長いこと等があります。これらを踏まえ、今後についてご意見いただきたいと思います。

課題の(2)教職員の働き方改革についてですが、これには決定的な解決策がないところですが、総合型校務支援ソフトとグループウェアがうまく機能すれば良い方向に進むのではないかと思います。校務支援ソフトを早期から導入している学校では少し効果が見えつつあります。今後市内全校で活用していく中で活用方法を共有することで、授業改善、事務改善につながっていくのではないかと考えています。

議題の(3)南あわじ市教育に関する事務の点検及び評価についてですが、それぞれ幅広い分野で、委員の方々の興味のある点からご意見いただければと考えております。

この件についてご意見等ございましたらお願いします。

**【近藤委員】** (3)の点検及び評価については、データがしっかりしていて、委員か

らも意見を出しやすいと思いますが、(1)と(2)については、私自身は教職を退職して何年も経ちますし、社会体育については自分の子どもがお世話になっていた時の状況しか知りませんので、ある程度の現状などがわかる資料をお示しいただければ議論が深まるのではないかと思いますがいかがですか。

**【阿部課長】** 社会体育は、各団体が主体的に活動しており、教育委員会としては施設の管理面で貸館業務として関わっているのみで、各団体の利用状況しかデータがないというところが現状です。

**【近藤委員】** そうなると、学校の先生方や保護者の声が大切になってくるかと思います。私が以前勤務していた学校では、社会体育でこんな遅い時間まで子ども達が練習して大丈夫かな、と感じたことがあります。現状を把握した上で意見を出せたらと思っています。

**【阿部課長】** 休日明けに子どもが疲れた様子で登校しているという様子を学校長より聞いています。ただ、疲れや睡眠時間が短い原因が、社会体育なのか家庭環境なのかの実態把握まではできておりません。

**【數田委員】** 野球、サッカー、バレーボールなどの団体は団体ごとに決められたルールがあるのではないのでしょうか。少年野球では週何日以上練習は禁止とか、練習日が多くなると指導が入るといような話を聞いたことがあります。そのようなルールがあればデータを示していただけたらと思いますし、団体に問い合わせ聞いていただけたらと思います。

**【阿部課長】** バレーボール協会やバスケットボール協会がコロナ対策のために協会として示しているルールはあります。ただ、少年少女の団体は個人が自由に参加でき、指導者・保護者の責任のもとで活動しています。ボランティアの指導者に保護者が意見しにくいという声や、人数の多い団体は低学年と高学年で時間をずらして練習をしているが全体的には練習時間が長いように見えるといった情報は入ってきておりますが、活動をルール化しているという話は入ってきておりません。体育協会にも問い合わせたのですが、そのような情報は無いとのこと。体育協会に加盟しているバレーボールや野球などの団体に対して体育協会から情報等を周知することはできますが、個人の自由と責任で活動している団体であるだけに、関りが難しいところもあります。

**【浅井教育長】** 学校の部活動のように直接的に一律に指導できない部分もあり、練習形態も様々で土日だけ練習する団体もあります。指導者の考え方も様々です。勝ち負けにこだわる指導者や、子どもの健康状態を第一に考える指導者等千差万別ですので、

一律に議論するには難しい面はあると思います。

そうなると、指導者や保護者にどのように意識をもってもらおうかということを考えていく必要があると思います。

**【數田委員】** 市として、子どもの成長に関する研修などを指導者等へ実施することはできないでしょうか。

**【阿部課長】** 先日、ワールドマスターズゲームズの関係で、元全日本女子バレーボール選手の益子さんにお越しいただいたときに、叱るだけが指導ではない、別の指導方法もあるということを講演会でお話いただきました。

今後、定期的に指導者や保護者向けの勉強会や研修会を開催する必要があるのではないかと考えています。

**【仲山次長】** 益さんはアンガーマネジメントについても熱心で、指導者が怒らない大会を毎年開催されています。大会中に怒っている指導者を見つけたら、制止するようなこともあるようです。その話が非常に印象深く残っています。

今後、少子化が進む中、単独校ではチーム編成できず、数校が集まってチームを作るようなこともあるかと思います。その場合、平日に集まるのは難しいため練習が休日に集中するのではないかとという課題も出てくるかと思います。

**【狩野委員】** 社会体育に参加している管理職の先生方もおられると思いますが、学校教育と社会体育は別と考えている先生も多いと思いますので、学校教育と社会教育の接点が少ないのではないのでしょうか。前日に社会体育の練習が夜遅くまであり、次の日に学校行事があったが子どもが疲れ切っている様子を見て学校側が初めて気づくということもあるのではないかと思います。この2つをどのように結びつけるのかということが課題だと思います。

**【浅井教育長】** 後追いになるかもしれませんが、そのような状況があった場合に学校側が意識を持って行動していく必要があると思っています。

他にご意見等ございませんか。

( 「なし」と呼ぶ者あり )

## (2) 令和3年度全国学力学習状況調査の概要について (追加)

**【浅井教育長】** 次に、「令和3年度全国学力学習状況調査の概要について」、事務局よ



り説明をお願いします。

【大住次長補】 資料として、過去4年間の概要資料に掲載した質問をまとめ、小学校、中学校別に経年での変化がわかるようにしています。各項目の上段が市の結果、下段が全国の結果です。全国より5ポイント以上上回る場合は黄色、下回る場合は赤色で示しています。各年度は対象の児童生徒がすべて違いますので、集団差、個体差があるところをどう判断するかという課題はあります。

「読書は好きですか」という項目については、平成30年度から令和2年度までは10分以上を基準としています。本市では読書活動の推進をテーマとしておりますので、令和3年度はハードルを上げて30分以上を基準としたため、令和3年度は数値が大幅に落ちています。ただ、毎日30分以上読書ができる環境があるかということや、10分でも毎日習慣をつけることに意味があるという見方に立つと、10分を基準とする考え方に今後変更することも考えられます。

「－」がある部分は質問項目が変わったため該当しない部分であり、令和2年度は全国調査が実施されなかったため、すべて「－」が入っています。

学校教育課で結果について少し分析してみました。これだけの資料で断定的な考察を行うことは不適切だと判断し、3つの質問項目のみを取り上げさせていただきました。あくまでも一部の考察として見ていただければと思います。

まず、「総合的な学習で調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」という項目については、全国より結果は低いのですが、小学校、中学校ともに徐々に数値は上がってきています。その一因としてコアカリキュラムの導入が影響していると考えております。コアカリキュラムでは市で統一した学習を進めており、子どもの資質能力を伸ばすプレゼンテーション力、コミュニケーション力を高めるため、調べたことを発表する場面が設定されており、それが改善傾向にある一つの要因と考えています。逆に言うと、これまで発表の場面が少なかったということであり、そこにこ入れができていないのではないかと考えています。

「自分にはよいところがある」という項目は、全国も市も数値が下がってきています。特に小学校でその傾向があります。これについて、日本財団が行った全国調査で、小学生については行事や日常生活に制限があり、精神的な影響を受けているというデータが出ています。よって、コロナ禍の影響を受ける中でどの様に回復していくかということが課題になってきます。そのためには、行事が制限を受けて縮小されても、行事の目標を子ども達とともに考え進めていくことによって、自分たちは何をしたらいいのかに気づかせる。そして、子ども達の声をよく聴いて反映させていくことが特に大切だと考えています。

中学校にも同様の傾向がありますが、令和3年度は回復しています。この結果は集団差か個体差によるものか悩むところですが、トライやる・ウィークの実施が縮小になったり、地域貢献活動に変更されたりする中で、子どもたちに自分たちに何ができ

るかを考えさせたり、自分たちの行動が社会の役に立っているという実感を覚える機会になったのではないかと捉えています。これらを肯定的にとらえ、今後に向けて繋げていけたらと考えております。

**【浅井教育長】** 説明が終わりました。この件についてご意見等ございましたらお願いします。

**【本條委員】** 「学校が休みの日に、1日1時間以上勉強する」の項目で中学校の数値が、令和2年度から令和3年度にかけて極端に下がっていますが、何か原因は考えられますか。

**【大住次長補】** まず、アンケートを実施した時期の差があります。令和2年度は9月頃に実施しましたが、コロナ禍で行事や部活動に制限があり、休日は例年に比べ比較的時間があつた時期だと考えています。約2か月の休校による遅れを取り戻すために宿題も多めに出ていたという影響もあると考えられます。

**【狩野委員】** 南あわじ市が掲げる「学ぶ楽しさ日本一」のテーマに該当する項目としては、「学校に行くのが楽しい」というところに着目しています。全国平均並に8割以上の子ども達が「楽しい」と回答していますが、残りの十数パーセントが「楽しくない」ということになります。原因は学習か、友達関係か、家庭環境かわかりませんが、「楽しくない」子を個々に観察してサポートする必要があるのではないかとことを常に思っています。

また、「読書は好きですか」ということについては、本を楽しいと思うきっかけが大事だと思っています。学校教育以外でも、学童保育の読書活動等を充実させるときっかけづくりになるのではないかと思います。様々な場面で考えていただけたらと思います。

**【大住次長補】** 「学校に行くのが楽しい」という項目は今年度から設定されたもので、今後の動向を注視していく必要があります。この項目や「自分にはよいところがある」「夢や目標はありますか」という項目は100パーセントを目指さないといけないところであると感じています。残りの十数パーセントの子ども達への対応を大切にしていきたいと思ひます。

「読書は好きですか」は、読書活動推進員を今年度から配置しており、学校だけでなく、幼児期、社会教育でも本を好きになる機会を多くして支援していく中で、総合的に検証していきます。学校では司書を有効に活用して工夫しながら取り組んでいるところです。今後ともご意見を参考に進めていきたいと思ひます。

【阿部課長】 学童保育でもアフタースクールを含めて、読書の時間を設定しています。  
図書館に団体登録をして本を借り、読書活動を推進しています。

【浅井教育長】 読書活動は長いスパンで取り組み、その成果を見ていく必要があると思います。学校教育だけでなく、家庭での取り組み、幼稚園・保育園・図書館での読み聞かせ等を含めて総合的に取り組んでいきたいと考えています。  
ほかにご意見等ございませんか。

( 「なし」と呼ぶ者あり )

### (3) 当面の行事予定及び教育委員会後援名義使用許可の報告について

【浅井教育長】 「当面の行事予定」、「教育委員会後援名義使用許可状況」については、資料をご覧置き願います。

## 6. その他

【浅井教育長】 次に「その他」に移らせていただきます。  
何かございませんか。

### ○1月教育委員会定例会の日程調整について

【森山課長】 1月の教育委員会合同定例会については、日程調整の結果、1月27日(木)午前10時から第2別館第5会議室で開催したいと思いますのでよろしく願いいたします。

【浅井教育長】 他になにかございませんか。

( 「なし」と呼ぶ者あり )

【浅井教育長】 ないようですので、「その他」を終了します。

## 9. 閉 会

【浅井教育長】 以上で本日の定例会の日程はすべて終了しました。

これもちまして、南あわじ市教育委員会、及び南あわじ市・洲本市小中学校組合  
教育委員会合同定例会を閉会します。

午前10時55分